

海を照らす灯台のなかまたち

～宇和嘉島灯台（うわかしまとうだい）～

宇和嘉島灯台は、宇和島港の西方約19kmにある嘉島の一番高い場所（標高120メートル）に、1973年（昭和48年）に建てられました。



嘉島は隣接する戸島の属島で、1958年（昭和33年）まで戸島村、その後、宇和海村を経て1974年（昭和49年）、宇和島市に編入されています。

島の名の由来は、「往古は加島と称せるを、戸口の増加を喜びて嘉島と改めたり」と、戸島村誌に記載があり、江戸時代に宇和島藩がイワシ網漁を奨励し人口が増えたそうです。

現在の人口は約80人、集落は冬の季節風を避けるためか、東側に集中しており、ハマチの養殖が盛んです。



【宇和嘉島灯台の位置図】



【嘉島の集落と灯台】

宇和島港と嘉島は、1日1便の旅客船と1日3便の高速船で結ばれていて、所要時間は高速船で約30分です。

船を降りて、集落の狭い路地を抜け、ひたすら島頂を目指すと灯台に到着します。





島頂部付近は木々が茂っていて、灯台正面（出入口扉がある側）から写真を撮るのは困難です。（上の写真は裏側（？）です）



【LED灯器（V型白）】

さて、この灯台の名称には、頭におざわざ「宇和」を付していますが、この理由を少し考察してみました。

灯台などの航路標識の名称は、「航路標識の名称の付与標準について」という通達で「設置場所の海図に記載されている地名（岬、鼻、島等の名称）を付与する」と定められていますので、「嘉島灯台」で良いように思いますが、「既設の標識に付与されている名称と類似する場合または混同されるおそれのある場合は、地方名、旧国名等を冠する」との規定もあります。

そこで、全国の「嘉島灯台」を探してみましたが、残念ながら見つかりませんでした。

同音を嫌ったことも想定されるため、念のため「かしま灯台」で検索してみると、

・伊予鹿島灯台（愛媛県） 1971年12月設置

・鹿嶋灯台（茨城県） 1971年 3月設置

がヒットしました。

茨城県の「かしま灯台」が最も早く設置されていることから、宇和島海上保安部管内の2基の「かしま灯台」には地方名、旧国名が頭に付されたのでしょうか。（真相をご存じの方、ご連絡をお待ちしてお

ります。)

因みに、同名の多いのが「長崎鼻灯台」で全国に7基あり、最初に設置（1897年（明治30年））された鹿児島県出水郡長島町の長崎鼻灯台が元祖で、ほかの6基には、各々、薩摩、三井楽、対馬、的山大島、土佐、肥前の名が冠せられています。



【元祖・長崎鼻灯台】



【薩摩長崎鼻灯台と開聞岳】

○宇和嘉島灯台要項

所在地 愛媛県宇和島市（嘉島）

塗色・構造 白色、塔形（コンクリート造）

灯 質 等明暗白光 明3秒暗3秒

光達距離 8海里（約14.8km）

高 さ 地上から建造物の頂部まで 9.65m

平均水面上から灯火まで 129.02m

地上から灯火まで 9.52m